

9月3日（金）に三重県と奈良県を近鉄で訪れた時の備忘です。

時間を有効に使える事から最も早く名古屋へ到着する事を考慮した上で7時34分に名古屋へ到着する事にし、7時34分に名古屋へ到着した。近鉄名古屋駅窓口では「近鉄週末フリーパス」を引き替えて7時50分発の特急713列車を見物する。この列車は2020年11月21日から12200系が充当されている事が多い、多かった列車という事もあり、狙いを付けて乗車したので懐かしさすら覚えた。この7時50分発の713列車と8時00分発の「ひのとり」58列車の出発を、動画撮影をした上で見物し、8時5分発の普通列車津新町行きに乗車した。7時50分発の713列車の後すぐに出発する普通列車は7時51分発なので到底間に合わない。仕方ないので7時51分発の次の8時5分発の普通列車を選択した。3両編成だが高校の生徒さんがたくさん乗車している。暫くは立ったままだったが、高校生が下車したら余裕の車内になった。実は今まで名古屋から津までの間、普通列車に乗車した事が無かった。途中、四日市で15分停車するとか、優等列車の退避（通過待ち）がかなり有るとか、今まで意識した事が無かった事を垣間見れた。しかも所要時間もかなりのものだった。四日市で長時間停車するという事は事実上普通列車では四日市をまたがる形での乗客は殆どいないという事だろう。前日に調べておいたが伊勢中川駅11時10分発の難波行き特急7004列車に乗る事が絶対的な条件だったので、ま、間に合うだろうとは思っていたが、近鉄名古屋線の普通列車の乗車は予想以上に時間を要して、伊勢中川駅では何とか30分弱の時間を取れた。

近鉄名古屋 8時5分発（四日市での15分だけでなく白子でも7分停車）

伊勢中川 10時38分着（津で乗り換えたが乗り換えで10分待ち）

伊勢中川から伊勢市間の普通列車の乗車は未体験だったので、せめて伊勢中川から松阪まで普通列車に乗り、くだんの難波行き特急7004列車乗れるかと思ったが現実には不可だった。仕方ない。伊勢中川駅では30分弱の待ち時間の間、

1040着 1043発

の松阪行きが到着したが、これが鮮魚列車だった。松阪寄りの1両だけが鮮魚用で他は普通車。大阪からの帰りと言う事もあり空というか何も乗っていない様に見えた。ドアも一部しか開かない。ここで「難波行き特急7004列車を伊勢中川から名張」でネット予約した。大阪側の4号車の進行方向右側の座席にした。この7004列車は12400系サニーカーが、しかも単独編成で充当されるのが前もって分かっていたので、狙いを付けていた。伊勢中川から名張は普通列車に乗った事が有ったが、名張から大和八木の間は特急しか乗った事が無かったから、くだんの難波行き特急7004列車は伊勢中川から名張の間にしたが、ホームの特急券券売機ではなんと伊勢中川から名張も伊勢中川から大和八木も特急料金は同じだった。難波行き特急7004列車は12403編成がやって来た。もともとは12200系の59編成として入線した車輛だ。名張駅で難波行き特急7004列車を下車したが次の

大和西大寺 15時15分発12400系サニーカー単独

京都 16時10分発12400系サニーカー単独

に乗るには十分な時間がある。思い切って逆方向に向かい山越えの所で、下車したら面白そうな駅を探した。雨も強く降ったり止んだりなので東青山駅は候補から外した。東青山駅界限は少し歩きたい思いがあったので、出来たら雨でない時にしたかった。西青山駅なら雨降りでも問題無さそう

なので、ここで下車した。

大阪線を斜めに横切る国道165号線はそこそこの交通量があり自動車があればアクセス困難な場所ではない。近鉄大阪線も上下とも1時間に1本の列車は停車するからそんなに不便ではない。降りたのは自分だけ、名張方向へ戻るのに戻る列車を調べたら1時間以上待つてになった。乗ってきた中川方面の列車を下車してほどなく名張方面の列車に乗れば良いのだが如何にせん、

名張方面からで12時08分着

名張方面へ12時14分発

の滞在では流石に勿体ない。13時14分発の名張方面まで待つことにする。不思議なのは人家が無いこの場所で1時間強待つのがそれほど苦痛で無い事だ。強いてあげればベンチに座れば良かった。雨も降ったり止んだり、ホームにある、屋根の下のベンチが濡れていた。立って1時間強を過ごしたのでその意味では少し辛かった。高架駅の下を流れる青山川が濁流だったのでかなりの雨降りだった事は想像できる。たまに降るが、止むと曇り空になるので天候は回復傾向か？名阪特急や阪伊特急が通過するのでと言うのも退屈でない理由であるが、名阪特急は「ひのとり」か「アーバンライナー」なので趣味的に面白そうな名伊特急を見ていた

中川方面が賢島行き7103列車でビスタカー

名張方面が難波行き7104列車で22600系の2両と12400系サニーカーを連結した6両編成サニーカーは12402編成だった。これで、これからのちに京都線、橿原線で乗車するのは12401編成になる事が分かった。駅前には自転車一台、通学用か通勤用か。暫くすると自動車が駅入口に横付けになった。自分が乗った中川方面の列車の次にやってきた普通列車から男性が1人下車した。その人はそのまま車の人になった。大阪方面のホームの南側の斜面にスロープ？らしきがあり、柵もあり木が茂っており、斜度もあったので昔の道路かと思ったが、帰って調べたらこれが旧線だった。国道の南側を沿って旧の西青山駅、旧の青山トンネルと続く様だ。名張方面の列車に乗車する。この西青山駅からの乗車は自分だけだ。名張までの間、伊賀神戸の前後は眠くて仕方なかった。これは今までにあまり経験が無かった。今日の先の事になるが帰路の東海道・山陽新幹線ではいつも眠くなるのだが、今回は新幹線の車内では眠くならなかった。

列車を桜井駅で降りる。ここからは通過する駅があるので大和朝倉始発の普通列車、各駅停車に乗り換える。地形を見ていると桜井で橿原の盆地に入る様だ。大和朝倉を境に列車の停車駅を分けるも納得。ただ、桜井駅はJR線との乗り換え駅なのに特急列車は一切停車しない。理由は分からない。桜井駅の大阪方面ホームの中川側には鮮魚列車の案内が貼ってあった。8時7発の上本町行きが該当する。中川よりの1両は乗車できない旨が記載されていた。

大和八木に着いて特急を予約しようとしたら何と12400系サニーカーが当たる予定の列車の車種が変更になっている。変更前のをいつ見たか覚えていないが、確かにサニーカーが当たる運用があったのに。未乗の近鉄奈良線に乗車し、大阪線で帰路のルートに変更した。大和八木駅の京都方面ホームでは3個しか無かった赤福のうち2個を購入し大和西大寺へ向かう。特急料金不要の速達列車にした。大和八木から東側でなければ各駅停車というか普通列車にこだわらなくても良い。編成も長いし東京界限とあまり差が無い。中京圏は都市の規模の割には編成が短いので何かあるかと思いき各駅停車、普通列車にこだわった。

大和西大寺駅では上本町から名古屋の特急券を窓口で購入。時刻表を見ていたら上本町始発の阪伊特急があり上本町始発は未体験だったので選択した。自分が乗りたいのはネットでも券売機でもヒットしなかったの。。。窓口で購入した。2列車とも1号車、喫煙室がある、だったので、4号車に変更してもらった。窓口氏、少しだけ不機嫌そうだったが再発券してくれた。後で調べたらこの乗り継ぎだと中川駅で乗り換えている時に、後発のひのとりが中川短絡線を経由して自分の乗車予定の名古屋行き名伊特急より先行する。同格退避と同じか、これが窓口でないで発券できない理由か？自分の選択した乗り継ぎの汎用形特急列車の方がひのとりより少し安価なので選択肢があっても良いかと思う。もう一つ追加すると上本町から桑名だと自分が乗りたい列車がネットでヒットする。

近鉄奈良線の車窓からの大極殿と朱雀門見たさに大和西大寺駅から近鉄奈良駅まで往復する事にする。近鉄奈良駅では1時間強の時間があった。地図を見たら東大寺は少し遠いが興福寺なら行けると判断し徒歩で興福寺へ。興福寺で少しぼーっとする。阿修羅を見るには時間が無さすぎた。ま、東大寺含めてまたにすれば良い。近鉄乗車と奈良観光を組み合わせれば良い。この年齢で東大寺の柱ぐりに挑戦してみたいと思った。近鉄奈良駅へ戻る途中の、興福寺の南側を歩いたがお土産店とかで開いていないのが目立った。ふらっと入ったお店でお土産を購入。大福だったのでいけると思ったが何と生クリームを使っているのもたないとの事。大福はやめて多少はもつプリンにした。プリンも賞味期限が通常と比較して短かった。これでお土産も出来たし、義理？も果たしたか。近鉄奈良駅では予定していた速達列車の1本前の大阪方面の速達列車に乗車した。名古屋へ戻るだけなら大和西大寺から大和八木を経由しての方が良いのだが、今回は一旦下がるというか戻るといいうか遠くへ行き戻る形になるというか少し余裕を持たせた。

石切駅の車窓

生駒のトンネル抜けて石切駅を出発した途端、あの有名な景色が目に入ってきた。自分以外の乗客は無関心だったが、列車が平地に下りるまで、ずーっと車窓を眺めていた。実は敢えて進行方向左側に座ったのだ。ロングシートの席からでも向かいの大窓から車窓がよく見える。しかも午前中の雨から大気の埃が取れて六甲山までよく見えた。

上本町駅ではなく一駅先の日本橋駅で下車し上本町駅へ戻る形にした。これで鶴橋から難波までの駅全てに下車した事になる。上本町駅では地下ホームから高架ホームへ上がったなら既に乗車予定の上本町17時45分発の松阪行き特急1705列車は入線していて乗車もできた。残念だったのが12410系の単独編成だった様子で、12410系か12600系かが分からない。写真とか一切の記録無しで自分も記憶が無い。車内で食事をしたので洗面台を使ったが、洗面台の記憶から12410系である事が判明した。通勤特急の様相で停車する度に乗客が少なくなるが、なかには途中駅からの乗車の人もいた。伊勢中川では自分の乗車した車両は自分ともう1人が降りて無人の車両になった。他の車両は何名かが乗車したまま松阪へ向かう。

伊勢中川19時15分発名古屋行き特急1812列車は22000系2両編成+22600系2両編成で4号車の22600系になった。22600系2両編成はこれで2回目(2月9日の大和西大寺から大和八木までで4号車、この時も橿原神宮前側が22000系)だが今まで灰色のシートの車両に当たった

事が無い。翌週、富吉検車区には22600系2両編成が停まっていたが、これは灰色のシートだった。

近鉄名古屋駅では

20時30分発のアーバンライナーの難波行き

自分が乗ってきた折り返しで20時45分発の松坂行き

の出発を眺めて、動画撮影して帰路の東海道新幹線、西日本版の車輛の人になった。この西日本版の車輛は無線LANがイマイチだった。

以上